

鶴崎熊太 先生 画

尚和会会報

尚和会総会のご案内

平成8年5月19日(日) : ホテルアイボリーで!!
(豊中駅東口すぐ ☎06-849-1111)

- ◆総 会 ————— 12:00～12:30 (受付11:30～)
- ◆立食パーティー ————— 13:00～15:00
- ◆アトラクション ————— ●湯井一葉ショー (シャンソン歌手)
●お楽しみ福引!
- ◆会 費 ————— 4,000円 (新卒者: 2,000円)

ゆい かずよ
プロフィール —— 宝塚歌劇団花組を退団後、パリ留学。帰国後、シャンソン歌手としてスタート。関西を代表するシャンソン歌手として大阪・東京等のステージでコンサート活動、ホテルのディナーショーと幅広い活躍を続けている。
'88年度には大阪府より大阪文化祭賞奨励賞を受賞、明るくさわやかな実力派のシャンソン歌手として親しまれている。



96

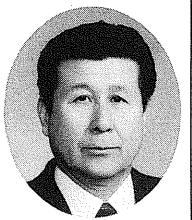
平成8年5月1日

発行 —————

尚和会

発行責任者 萩野 哲男

編集責任者 田中 渡



会長挨拶

尚和会会長

荻野 哲男

昨年は、戦後五十年と言う大きな節目の年であり、戦後日本の総括を行い、二十一世紀に向けて大きく飛躍する年がありました。

しかしながら、年始め早々に阪神・淡路大震災の発生をはじめ、オウム真理教の事件の数々、バブル崩壊後の金融機関の破綻等があり多事多難な年であります。最近の予測によりますと、経済情勢は上昇機運にあるとも伝えられていますが、まだ不安定要素が多く、長期化した不況が一転して大きく変るはずもなく、一進一退が続くものと思われます。今年は大変大事な年を迎えておりました。

来年は母校の創立六十周年を迎えるにあたり、会員名簿の発行、記念誌の発行、慰靈祭の開催等の記念事業を計画しております。又、一昨年の東京尚和会創会で、全会一致で支部設立への意志が確認されたことは昨年ご報告致しましたが、現在、支部設立の要件がほぼ充たされておりましたので、尚和会本部の対応次第では本年度中に東京支部の実現が確実視されてまいりました。

このように本年は、六十周年の準備年度として重要な課題を抱えておりますので、役員一同、性根を入れて頑張りたいと思います。

皆様には、尚和会の名称のとおり、和を尊び、和を結集して頂き、誠に感謝いたします。

尚和会も新世紀に大きく飛躍するためには、現在抱えている財政の見直しをはじめとする諸問題を一つ、一つ解決し、前進することが肝要かと考えております。

会報



ご挨拶

大阪府立桜塚高等学校
福山 勇

卒業によせて

教頭 藤森宣雄

今年も四六四名の卒業生が本校を卒立つて行きました。同窓会の新しい会員としていたたくことにあります。今の季節は年度の終りであるとともに、新しい年度の準備にかかる時もあります。

卒業生を送ると同時に、新入生を迎えた新年度がスムーズに発生することを願つて準備を進めてお

ります。

卒業生を送るに当つては、教員は複雑な感情をもつものです。三

年間よくやつてきたと祝福するの

は当然のことではあります。直

接に生徒諸君に接して来られた先

生方にとっては、大切な時間を共

平成8年5月1日

昨年は、戦後五十年と言つた大き

な節目の年であり、戦後日本の総

括を行い、二十一世紀に向けて大

きく飛躍する年がありました。

しかししながら、年始め早々に阪

神・淡路大震災の発生をはじめ、

オウム真理教の事件の数々、バブ

ル崩壊後の金融機関の破綻等があ

り多事多難な年であります。

最近の予測によりますと、経済

情勢は上昇機運にあるとも伝えら

れていますが、まだ不安定要素が

あります。が、まだ不安定要素が

定時制この一年

定時制課程教頭 勇上和市

昨年の四月に定時制課程の教頭として赴任して一年。ようやく、その生活にもなれ、定時制のことが少しずつ見え始めました。定時制課程も本年四月には五十期生を迎えて、創設以来半世紀を迎えようとしています。本年の夏には定時制の創設五十周年を祝う行事が、東京で催されることになっています。勤労青少年の学習を保障する場として発足した定時制課程ですが、昨今は、多様な生徒が増え大きく様変わりしてきました。個性化、国際化、情報化といった社会の変化に対応して、高校教育も改革を迫られているわけですが、ご存じのように、大阪では今年度から定時制の六校が募集停止となり、新たに四校の工業科に普通科が併設されるといった改革がなされ、また、一般社会人を受け入れるための聽講制度の導入など、改革がスタートしています。

本校でも先輩の方々が築いて来られた伝統を引き継ぎつつ、多様な生徒を迎えて、新たな定時制の在り方を模索しながら、改革に向けて、現在取り組みを進めているところです。制度改革はもちろん教育内容や方法など、幅広い視点で時代の要請に合った定時制を作りたいと思っています。先輩諸氏のご支援、ご協力を得なければならぬこともあるかと思いますが、今後ともよろしくお願い致します。

さて、平成七年度は新入生八十一名を迎え、在籍三〇一名でスタートし、この二月には男子四十一名、女子五名合計四十六名が晴れて卒業し、尚和会のお仲間に入れていきました。特に、サッカー部の全国大会出場に関しましては、物心両

面にわたり、諸先輩からおおきなご支援をいただきましたことに、改めて感謝申し上げます。

として赴任して一年。ようやく、その生活にもなれ、定時制のことが少しずつ見え始めました。定時制課程も本年四月には五十期生を迎えて、創設以来半世紀を迎えることになります。本年の夏には定時制の創設五十周年を祝う行事が、東京で催されることになっています。勤労青少年の学習を保障する場として発足した定時制課程ですが、昨今は、多様な生徒が増え大きく様変わりしてきました。個性化、国際化、情報化といった社会の変化に対応して、高校教育も改革を迫られているわけですが、ご存じのように、大阪では今年度から定時制の六校が募集停止となり、新たに四校の工業科に普通科が併設されるといった改革がなされ、また、一般社会人を受け入れるための聽講制度の導入など、改革がスタートしています。

本校でも先輩の方々が築いて来られた伝統を引き継ぎつつ、多様な生徒を迎えて、新たな定時制の在り方を模索しながら、改革に向けて、現在取り組みを進めているところです。制度改革はもちろん教育内容や方法など、幅広い視点で時代の要請に合った定時制を作りたいと思っています。先輩諸氏のご支援、ご協力を得なければならぬことがあるかと思いますが、今後ともよろしくお願い致します。

さて、平成七年度は新入生八十一名を迎え、在籍三〇一名でスタートし、この二月には男子四十一名、女子五名合計四十六名が晴れて卒業し、尚和会のお仲間に入れていきました。特に、サッカー部の全国大会出場に関しましては、物心両

面にわたり、諸先輩からおおきなご支援をいただきましたことに、改めて感謝申し上げます。

おる中で、最も大きい中心になつておる鯉の形と鱗の組方が難しく、一応参考資料として色々な大家の作品を調べてみました。私が持つたのは、一匹の鯉に約二ヶ月もかかり六ヶ月振りに下図を仕上げ本紙にかかつて約一年目に漸く完成致しました。私にとっては全く寿命を縮めるような思いでした

がお陰でどんな動きの鯉でも描けるようになりました。小品で苦心しましたのは、(鯉と茄子)の絵で、鯉の立体感を表現することで茄子の色調と質感を表現することで大変苦心致しましたが、それが却って深みと内容的に迫力のある作品になりました。全体の作品では

(難民の家) (古都の池) (南瓜)

雀と庭石を描いた(早春の庭)

(鮎)の絵等が好評を頂きました。

今後は更に一層の研究に精進を致し、来たる(一〇〇年展)にも備えて立派な良い作品を描いて行く

よう努力をして行く所存です。

生徒指導の仕事としては、難産の末誕生した生活指導部室の新設

(自治会室に移転してもらう)と運

刻指導の取り組みでしょう。桜塚生

の最大の欠点は、時間に對して余り

にもルーズなことでした。たまにかせ、担任は苦言を頂戴したもの

です。

生徒指導の仕事としては、難産の末誕生した生活指導部室の新設

(自治会室に移転してもらう)と運

前行事担当副会長 渋谷 伊三雄

平成7年度の総会は、歴史的災難を越えて、知ろう！語ろう！「戦争」と「震災」というテーマにて開催致しました。

阪神大震災により被災されました皆様には改めてお見舞申し上げますと共に、不幸にして亡くなられました会員の方には、心よりお悔やみ申し上げます。

総会に於ける懇親会場では、各々のテーブルでお互いの無事を喜び合う姿や、被害の状況を話し合う様子が見られました。

又、昨年は戦後五十周年という事で、高女五期の広実輝子様に「ほむら野に立つ」と題して、戦時中、学徒動員時の生々しい体験談をお話して頂きました。

戦争を知らない若い世代の人達も沢山おられましたが、母校の悲しい歴史に会場の方全員が感銘を受けたと聞いておられました。

又、第五回目の「名所・旧跡を巡るバスツアー」は十月二十九日、参加者三十五名で実施致しました。今回は奈良方面探訪と言う事になり、関西の日光と呼ばれる、「談山神社」を散策後、「多武峯觀光ホテル」で昼食を終え、国宝の十面観音が祀られている「法華寺」

を参拝し、赤膚焼の窯元を見学して、全員無事に帰路につきました。

最後になりましたが、会員の皆様には、長い間、ご指導、ご協力を頂き厚くお礼申上げます。今後も尚和会発展の為に微力ではございますが、力を尽くしていくつもりです。何卒、今後共よろしくお願い申上げます。

尚和会からのお願い

広告掲載のお願い

来春発行します尚和会会員名簿に広告掲載をお願いしたいと思います。会員以外の方からの広告も頂ければ幸に存じます。よろしくお願い申し上げます。(広告掲載申込者には名簿一冊進呈致します。)

会員数 約28,000名

発行予定部数 5,000部

掲載料金 全頁…100,000円

1/2頁…60,000円

1/4頁…35,000円

1/6頁…30,000円

1/8頁…20,000円

申込期限 平成8年12月20日

申込用法

申込用紙を用意しております。

ご連絡下さい。

名簿担当 小川尚子

☎ 06-322-8353

〒533 大阪市東淀川区淡路4-1-46

来春7桁郵便番号掲載の尚和会会員名簿が発行されます

母校創立60周年を記念して、会員名簿を発行することになり名簿委員会も発足しました。会員数28,000人を越える大所帯。住所不明者もかなり出ています。別紙一覧表をお目通しの上、消息、住所のわかる方がありますたらご連絡下さい。

装いも一新、尚和会らしい確実な名簿作成をと勵んでおります。皆様のご協力よろしくお願い致します。

発行 平成9年春

大きさ A4版横型

予約価格 3,500円(送料共)

頒布価格 4,000円(送料共)

内容 正会員(9年卒業生も収録)

旧姓、新姓、索引付き

旧職員、在校生

母校周辺写真

十月二十日(日)バスツアーのお知らせ

第六回「名所・旧跡を巡る会」を左記通り計画致しました。お誘い合せの上、奮ってご参加下さい。

ます様お願い致します。

一、行先 近江八幡、水郷めぐり

二、予定コース

岡町→八日市→近江八幡、水郷めぐり→瑞竜寺→市内昼食→歴史民族資料館→八日市→岡町

(船頭さんの説明を聞きながら屋形船でヨシの茂る水路を、のんびりと遊覧しましょう。)

三、会費

一二、○○○円(昼食代含む)

四、申込方法 参加ご希望の方は八月末迄に左記宛ハガキでお申込み下さい。

詳しい案内をさせて頂きます。

下記 豊中市中桜塚四丁一
大阪府立桜塚高等学校
尚和会行事部
宛

母校の落ちこぼれが本になりました

豊中市在住のフィリピン人女性とその子供の国籍を求める活動のドキュメント「国際婚外子と子供の人権～フロリダ・ダイスケ母子の軌跡」

今西富幸(産經新聞記者)・上原康夫(弁護士)・高畠幸(大阪外大講師)著

明石書店刊(〒113 東京都文京区本郷1-13-4 ☎03-3818-6351)

崎 阪 治(〒560 豊中市中桜塚5-3-43-104 ☎06-858-4510)

ご注文は最寄りの書店、出版元、またはダイちゃんを支える会(〒530 大阪市北区西天満3-6-11自由堂ビル2階上原・竹下法律事務所取扱 ☎06-367-5330)までお願いします。

※「人権考」(産經新聞大阪本社人権問題取扱班編・解放出版社刊)、「ボクは日本人」(信濃毎日新聞社編集局編・信濃毎日新聞社刊)にも出ています。

【貸借対照表】(平成8年3月31日現在)(単位:円)

科 目	予 算	決 算	差引過不足	備 考	8 年 度 予 算
収 入 会 金	1,527,000	1,677,000	150,000	(3,000円×50名)(3,000円×50名)	1,530,000
尚 和 会 協 力 金	2,200,000	2,429,850	229,850	804名	2,300,000
広 告 収 入	300,000	315,000	15,000	14件	300,000
利 息 収 入	100,000	82,218	▲17,782		80,000
雜 収 入	0	2,000	2,000	名簿売上金	0
計	4,127,000	4,506,068	379,068		4,210,000
事 務 費	100,000	34,314	65,686	事務印刷代	50,000
通信・運搬費	200,000	223,280	▲23,280	ハガキ、宛名シール、切手代	200,000
会 合 費	600,000	316,229	283,771	理事会及び各委員会会合費	350,000
慶弔費	100,000	183,820	▲83,820	入学卒業お祝他 11件	100,000
会館維持費	50,000	88,580	▲38,580	尚和会館入口の外灯取付費	30,000
卒業生記念品代	70,000	58,761	11,239	卒業証書入れ515本	60,000
会報発行費	3,200,000	3,141,340	58,660	23,000部	3,300,000
総会費	900,000	798,334	101,666	於ホテルアイボリー	900,000
名簿整理費	180,000	180,000	0		180,000
雜支出	0	0	0		0
計	5,400,000	5,024,658	375,342		5,170,000
1. 差引当期収支 ▲1,273,000	▲518,590	754,410		▲960,000	
2. 前期繰越金 1,522,867	1,522,867	0		1,004,277	
3. (1+2)合計 249,867	1,004,277	754,410		44,277	
4. 次期繰越金 249,867	1,004,277	754,410		44,277	

以上報告いたします。

財務担当副会長(定6期) 木田 隆幸
会計(7期) 林下由美子
会計(8期) 岩藤 雅子
監査の結果誤りのないことを報告します。
会計監査(13期) 細川 和彦
会計監査(1期) 安達 良子

コピーと印刷のダイセイ

営業品目 青写真/マイクロ/カラーコピー/印刷/和英ワープロ/製図

新宿支店 〒160 東京都新宿区西新宿1丁目23-1(千葉ビル1F) ☎(03)343-5131(代)
池袋支店 〒170 東京都豊島区東池袋2丁目6-11(第2アサヒビル1F) ☎(03)3988-4886(代)
葛巻前支店 〒130 東京都墨田区石原3丁目22-6 ☎(03)3829-4873(代)
幕張支店 〒262 千葉県千葉市花見川区幕張本郷5-4-1(ESビル1F) ☎(043)271-1867(代)



専務取締役 鈴鹿 常雄(高校四期)

鐘のひびき

ああ、戦後五十年
高女五期 広実輝子

一九九五年の年賀状に
「戦後五十年の今年、あの敗戦
の廢墟の中でひたすら願つた平和
と、不戦の決意でありましたが、
それが今日までの日本の礎となつ
たと思います。」

そして、なほ続く戦争と飢餓を
思ふ時、謙虚に歩まなくては、と
書いたが、そこへ一月十七日未明
の阪神大震災である。六千余人の
犠牲者を呑みこむ大地の怒りであつ
た。五十年前のあの炎と重なるショッ
クであった。

それは、高女四期、五期が同時
卒業して五十年という年でもあつ
た。五期について言えば、五月の
同期会を延ばし、とりあえず安否
をお尋ねしてお答え頂いた六十一
名の方々から、「阪神大震災に遭
遇して」を冊子にして、同期生に
お知らせしている。十月三十日、
千里阪急ホテルで師弟七十九名が
会し、「生きていてよかつた」「会
えてよかつた」と一人一人が五十
年を語り、記念誌「50年目の便り
I・II」を手にしたが、当番幹事
の大変なご努力に感謝している。
尚和会では、戦後五十年目の節
目として、五月二十一日、「戦争」
と「震災」をテーマにして総会が
開かれた。その席上、私は当時の
体験者として、豊中高女の学徒勤
労動員の一駒をお話しさせて頂い
た。やがて創立六十年を迎える桜
塚高校の歴史の中で、最も苦渋に
みちた数年であった。いずれ証人
も消え、事実も霞んでいくが、今
「無き数にいる名をぞ止むる」の
思いをこめて、無残にも「ほむら
野」に散り、傷ついた友達の名を、
同窓会である故に、一人一人、あ
げさせて頂いた。

谷田成御導師によるものである。
ご遺族六名、先生、同窓生六十名
が相寄り、當時を偲びつゝご冥福
を祈つた。豊中高女学徒勤労動員
ご遺族から「ご住職様が一人一人
お名前を読み上げられました時に
は、思わず熱いものがこみ上げて
参りました。五十年の歳月を風化
させることなく、かくも立派な慰
靈祭をお勤め下さり、言葉につく
せぬ感謝の念いで一杯です。泉下
の妹、母もさぞ満足していること
でしよう」(原文のまま)とお

同決議(会則)も十分に得ること
ができ、本部へ報告いたしました。
その後も尚和会本部にご指導をあ
おぎ、支部の規約(構成・運営・
幹事・高八期の代表の方々のご協
力で、支部設置に必要な会員の贊
同)等につきまして、本部会
議にて準ずるかたちで整えてみるよ
うご指示をいただき、少しづつ準
備をすすめております。(評議員
会の承認等の手続きもありますが)
一千数百余の会員が居られる
首都圏、それも尚和会として初め
ての支部発足となりますが、これ
は、過去の創会に出席して盛り
下さい。どうぞ、安らかに。さよ
うなら」

今、この年、なすべき事をなし
た思いが深い。私としては、わざ
かながら、語り部の役もしたが、
この辺でくぎをつけようと思つ
ている。これからは、稚きもの
で福祉が足りなく、精神的、肉体
的に限界に達している話はいづば
い見聞きします。

私は二年前に、介護で苦労した
友人らと、豊中の高齢者福祉はどう
なつてゐるの?と、単純な動機で
「高齢者福祉を考える豊中市民の
会」をつくり、活動してきました。
丁度十年前の四月のある日、お
友達のMさんから今度公民館で鶴
崎先生の日本画の教室を始められ
た。

高校の三年間は書道を選択して
いました。やがて来られる姿に圧倒され
ます。米寿を迎えた私は、常に向上心を忘れないで努力を続
けておられる先生、私もやつと最
近になつて先生の大聲で叱られる
のが分かる様になりました。日本
画独特的の色彩の美しさ、これから
も先生について一生懸命勉強させ
たいと思っております。

その思いは、十月二十六日、桜
塚高校の後輩達へ、語り継ぐ事に
もなつた。

「事務所前の少女像、いつも何
気なく見過ごしてきたが、まさか、
みんな歴史があつたとは思つても
いかがこめられてゐるのだなあ。こ
の少女達の、本当にさまざま想
いがこめられてゐるのだなあ。こ
強く思つた」(原文のまま)。高一
女子との思想を得て、

六月四日には、ほむら野会が、
念願の五十年慰霊祭を、大阪北区
の冷霊院で行つた。尚和会前会長、
谷田成御導師によるものである。

早いもので、昨年の十一月、
第四回の東京尚和会創会を開催し、
支部の設立について提案させてい
ただき、出席会員の皆様より満場
一致のご賛同を得まして(平成七
年五月会報にて報告より)一年余
りが過ぎました。

いよいよ本年度は、その発足が
実現を迎える年となるのです。昨
年は、創会の次回(第五回)、
幹事・高八期の代表の方々のご協
力で、支部設置に必要な会員の贊
同決議(会則)も十分に得ること
ができ、本部へ報告いたしました。
その後も尚和会本部にご指導をあ
おぎ、支部の規約(構成・運営・
幹事・高八期の代表の方々のご協
力で、支部設置に必要な会員の贊
同)等につきまして、本部会
議にて準ずるかたちで整えてみるよ
うご指示をいただき、少しづつ準
備をすすめております。(評議員
会の承認等の手続きもありますが)
豊中市広報に日々掲載されます
が、箕面市、池田市、吹田市等も
射程に入れた市民講座です。月に
一度の割りで年間一二回です。見
学、ビデオを取り入れて、市民の
高齢者福祉への関心の足掛かりに
なれば、代表は張り切っています。
会の代表が府立高校の社会科教
師で、今年度の学校での開放講座
に「高齢者福祉」で開講すること
になりました。いままで、パソコ
ン講座や園芸、英会話が多かつた
中に時代にマッチした企画と思
います。

尚、東京では、数年前「戦時下
勤労動員少女の会」が結成され、
全国的に調査総括して、近く一冊
の本として出版されるが、在京の
同窓生が大いに協力していること
を報告させて頂く。

尚、東京では、数年前「戦時下
勤労動員少女の会」が結成され、
全國的に調査総括して、近く一冊
の本として出版されるが、在京の
同窓生が大いに協力していること
を報告させて頂く。

「第五回東京尚和会創会(つく
ろう会)」が記念すべき「支部發
足を記念する会」と云うタイトル
を冠につけて開催され、多くの会
員の方々の参加を得て、「尚和会
東京支部」として生まれ変わります
ことを祈願いたします。

○ご案内状発送
平成八年七月下旬~八月初旬
○開催予定日
平成八年七月二十六日(土)
○会場(予定)
東京都内・昼間の時間

日本が世界一になる!
高十六期 中務公子

日本は現在世界で一番の金持ち
国なのか、二番目のか知らない。
これだけ物があふれているから一
番のかも知れない。

昨年の阪神大震災のときには、そ
の一番の金持ち国は、被害者をす
ばやく救えなかつたし、あととのワ
ロールも不充分である。この金持ち
国は決して世界に誇れない。

もう少し、あと五年すると、日
本は世界で一番の長寿国になるん
ですって。六十五才以上の人□比
率が世界で一位。二〇二〇年には
四人に一人が高齢者である。

まあ、大変な時代にはいりかけ
るのですが、もう既に肉親の介護
で福祉が足りなく、精神的、肉体
的に限界に達している話はいづば
い見聞きします。

丁度十年前の四月のある日、お
友達のMさんから今度公民館で鶴
崎先生の日本画の教室を始められ
た。

御紹介下さい!!
婚礼家具を(卸値にて)紹介頂けますと
販売価格の5% (3~10万円位) を還元します。
また、携帯電話・宝石・電化製品等も格安にて提供しております。

近藤商事 ☎06(309)0317

同期会報

高八期四十周年を盛大に
ヒルトンで百人が集う

高八期 川手 洋三



平成8年5月1日

昨年十一月十八日、八期生幹事が呼びかけて「桜塚高校八期生卒業四十周年記念の集い」を大阪梅田のヒルトンホテルで開いた。生憎、アジア太平洋経済協力開発会議(APEC)が開催中で、同ホテルも宿泊先になつていていたため、警備の私服警官が随所に立つてゐるものものしさ。それでも同じフロアで何組もの結婚披露宴があり、華やいだ雰囲気をかもしていた。

八期の卒業生は九クラス四百五十人弱、クラス幹事が呼びかけて約百人の同窓が集まつた。四十周年の集いは、代表の森田司朗さんのおさつで、三時半か

らはじまり、尚和会長の荻野さんには来賓のあいさつをお願いすると、風邪で声が出ないというアクシデントもあり、しわがれ小声でさつをいただき、あとは自由に交歓する。会場はクラスごとにテーブルを分けて座つてもらつたが、三十分とたないうちに、一年は三組でいつよつた、三年も六組で同じクラスやつたねなど四十年振りの再開もあり、話に花を咲かせていた。遠くは仙台市、広島市、四国からと十数人の遠來の人もあり、楽しい交歓の一時を過ごすことが出来た。次回は五十周年と、高齢化社会に立ち向かう意気も見せていました。

最後に、全員で「かがやけるさつき大空 緑濃き…」と校歌を齊唱し、記念写真、クラスごとの写真を撮り散会。グループごとに二度会、三次会へと流れていった。

昨年は禍の多い一年でしたが、皆様お元気でいらっしゃいますか。平成七年十一月二十五日十一期三年二組の同窓会を豊中の鍋くらで開催しました。三十六年ぶりという事で、何人の方が集まつて下さるか、とても不安でしたが、皆さんが声をかけ合つて下さつたおかげで、遠くからかけつけて下さつた方々や、震災でお母様を亡くされた辛い思いの中、元気なお顔をみせて下さつた方もおられ、なつかしい顔が二十五名も揃いました。

高校時代の思い出話は勿論の事、仕事の話、結婚観、生き方、孫の話と盛り沢山の話題に時間が足りないくらい一時を過ごしました。そこで一年に一回集まりたいとい

う声が多く、今年も十一月頃に予定しています。ちょっと早いですが、忘れない様よろしくお願ひします。一層多くの方のご参加をお待ちしています。

幹事 野口(本宮)、稻田(樟木)、岡本(本宮)、田中(銅金)

高十七期卒業三十周年同窓会

高十七期 福本 育馬

(福本)の開会の挨拶の後、来賓された各先生及び同期生のための黙祷があり、同期生を代表して私は紹介と近況報告があり、和気藹々の中、改めて友情の輪が広がる一時でした。私は十七期生も会長の乾杯で会食が始まりました。

稗田和子さんのリードで、クラス毎の紹介と近況報告があり、和気藹々の中、改めて友情の輪が広がる一時でした。私は十七期生も天命を知るといわれる五十歳を目指え、お互いの健康を気づかうの心地よい一日となりました。

富岡君のお世話をよる二次会の方も十数名の参加があり、それぞれ友人の消息を尋ねあつたり、仕事や家庭のことなどに話が弾み、時間もアップという間に過ぎてしましました。最後に全員で高校三年生を合唱しお開きとなりました。開催にあたり準備及び名簿の作成等にご協力をいただいた方々に紙面をお借りし、厚く御礼申し上げます。次回の同期会は五年後に開催致したいと思っておりますので宜しくお願い致します。

一、出席申し込み締め切り(二月十五日)時点での参加申し込みが約三〇名であったため第一会議室(椅子を定員約五十五人)を借りたのですが、申し込み締め切り

女八期 中村 陽子

桜花会だより

女八期

中村 陽子

皆様お変わりございませんか。大震災から一年余り、時がゆくなり流れたのか恍然とし過ぎたのか、その区別もつかない様な一年でした。

一

還暦旅行を楽しんでいたのがついこの間の様に思えるのに、もう六十も半ばになつております。今日一日という日が本当に大事な日という思いですのに何故か時は勝手に流れていきます。ですがその事を別に後悔するでもなし、何かしなければと氣負う事もなく、何か心地良く世間と一緒に流れてる感がします。

健康であるとか無いとか、富を持つているとか持つていないとか、そんな事に左右される事なく今日自分が心地良いという事が、いい事ではないでしょうか。

六月六日、千里阪急ホテルで桜花会の集まりがあります。皆様一人でも多くの方に出席して頂いて心地良い一日を味わつて頂けたら存じます。

なお、詳細につきましては、別紙案内状を御覧下さい。

高十一期三年二組同窓会

高十一期 田中 紗恵



去る(二月二十五日)、私達十七期(昭和四十年卒業)は、卒業三十周年を記念して、梅田スカイビルにおいて桜塚高校第二十八期生の卒業二十周年同窓会を行いました。

平成八年三月九日(土)午後二時四時迄豊中市民会館第一会議室にて桜塚高校第二十八期生の卒業二十周年同窓会を行いました。当時は懐かしい恩師、級友と再会出来、ひとときでも三十年前の青春時代にタイムスリップした想いにひたることが出来、日頃のストレスや煩わしさから開放される本当に楽しい一日でした。

先生の参加は当時の一一九組までの担任の先生に案内を出し、山本孟、岡崎博哉、永庄富延、各先生がご出席、それぞれ簡単なあいさつをいただきました。

上村学君の進行のもと、ご逝去了された各先生及び同期生のための黙祷があり、同期生を代表して私は紹介と近況報告があり、和気藹々の中、改めて友情の輪が広がる一時でした。私は十七期生も天命を知るといわれる五十歳を目指え、お互いの健康を気づかうの心地よい一日となりました。

富岡君のお世話をよる二次会の方も十数名の参加があり、それぞれ友人の消息を尋ねあつたり、仕事や家庭のことなどに話が弾み、時間がアップという間に過ぎてしましました。最後に全員で高校三年生を合唱しお開きとなりました。開催にあたり準備及び名簿の作成等にご協力をいただいた方々に紙面をお借りし、厚く御礼申し上げます。次回の同期会は五年後に開催致したいと思っておりますので宜しくお願い致します。

一、幹事としての仕事も最初の準備と開会のあいさつくらいで、先生のごあいさつが終わつてしまつて、もう何を言つても参加者の耳には届かないほどあちこちで雑談が始まつたが用意された料理はあまり、昔の思い出や、欠席者の消息の情報交換など、話ばかりでビールとジュースは結構飲んでおられましたが用意された料理はほとんど食べられなかつたようです。

今回、同窓会を初めて開催したため、いろいろと不手際もあり、反省すべき点をいくつかあげてみますと、

ビールとジュースは結構飲んでおられましたが用意された料理はほとんど食べられなかつたようでした。

金野、井上まさ、牧の各先生方そして尚和会の荻野会長のご来臨を賜り、一一〇名の出席を得て賑やかな同窓会となりました。

上村学君の進行のもと、ご逝去了された各先生及び同期生のための黙祷があり、同期生を代表して私は紹介と近況報告があり、和気藹々の中、改めて友情の輪が広がる一時でした。私は十七期生も天命を知るといわれる五十歳を目指え、お互いの健康を気づかうの心地よい一日となりました。

富岡君のお世話をよる二次会の方も十数名の参加があり、それぞれ友人の消息を尋ねあつたり、仕事や家庭のことなどに話が弾み、時間がアップという間に過ぎてしましました。最後に全員で高校三年生を合唱しお開きとなりました。開催にあたり準備及び名簿の作成等にご協力をいただいた方々に紙面をお借りし、厚く御礼申し上げます。次回の同期会は五年後に開催致したいと思っておりますので宜しくお願い致します。

高校三十三期 阪口(岩井)和子
阪神大震災で庄内の住まいが全壊しました。つらい3ヶ月でした。
がふるさと豊中を離ることなく、
ふんばってきました。また○から
のスタートですが全力で頑張ります。

学校行事

六月十三日(木)
九月二十一日(土)
九月二十二日(日)

いのは、卒業後の母校の現況、同窓生の動静、諸先生方の近況です。母校の現況については、在学時代の思い出の残る物理的場所の情報として、校舎、講堂、音楽室、教員室、運動場、体育馆や庭園、庭の木々、桜や藤や躊躇やグランド等の片隅のクローバーの一つ一つに

高校三十四期 根本(土橋照子) 会報で知った「ほむら野に立つ」を早速図書館で借りて読み、ショックを受けました。改めて幸せな高校生活を送れたことに感謝しました。(結婚し、改姓と住所変更しました。)したのでよろしくお願ひします。)

高校三十三期 松原(池田)真理
被災地の皆様の御健康と一日も早い復興を中心よりお祈り申し上げます。

高校三十七期 松下(中津)和子
主人の転勤で四年半浜松に行つていて、この四月に関西にもどつてしまひました。五才三才の各々男児、二・五ヶ月女兒の母です。

尚和会会報への希望

具体的には、協力金を、会報会費と、協力基金費に分けて、会報会費は全員が同一額で、三千円程度に設定し、会報を希望する会員は、会報会費を支払う事とし、協力金は、従来通りですが、一回二千円以上程度に変更する事をご検討下さい。

協力金についての私見を述べますが、尚和会全体の予算の仕組みを熟知しておりませんが、決算報告から伺える事は、協力金の拠出人員に対して、会報配布数が異常に多い点です。会報こそが、我々と母校との繋ぎ情報の唯一の懸橋だと考えるならば、会報の発行は一年一回でも結構ですが、もつとページ数を増加した充実した会報にするに同時に、本当にその値打ちと意義を認めている人にだけ配布すべき仕組みを考えるべきではないでしょうか。

まで、岡町の駅や学校に至る商店街、公園にまで、我々の青春の思ひがあります。そんな数々を紹介して頂ければ、永い間母校へ行つてない者にとって、とても有難いと思います。

又、ソフト的情報としては、現役生徒の活動状況、運動部、文化部などの部活動の成績も関心の深いところですし、更には、諸先生方動静についても、特に定年退職された先生方の近況については、格別知りたいところです。会員の動静については、同窓会の開催状況報告については、現在のスタイルで結構で、楽しく拝見しておりまます。物故者一覧についても、是

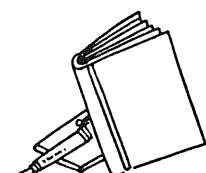
平成七年度物故者

(平成七年一月～十二月まで)

新年度役員紹介

パナシア 動物病院

豊中市曾根東2丁目9-3 ☎ 豊中(06)862-1201 9900
栗本 浩 (高校5期)



建築請負【創業大正13年】

株式会社 森田工務店

豊中市勝部 1-9-20

☎ 06-841-3702

高校8期 森田司朗

高校13期 森田喜八郎

十萬円[九萬七千九百五十八年八月会]九萬七千九百五十八年八月会
五萬円[四十六期]四十六期
三萬円[定十三期]定十三期
二萬円[高六期]高六期
一萬円[高三期]高三期
武井錠一[高職員]高職員
西大西ひろ子[高女二期]高女二期
内海順一[高女三期]高女三期
本田陽子[高女五期]高女五期
林正宏[高五期]高五期
鍋正一[高一期]高一期
高八期[高一期]高一期
高十九期[高二期]高二期
高二十期[高三期]高三期
高二十一期[高四期]高四期
高二十四期[高二期]高二期
高三十期[高一期]高一期
高四十期[高一期]高一期
高四十二期[高二期]高二期
高四十三期[高三期]高三期
高四十四期[高四期]高四期
高四十五期[高一期]高一期
高四十六期[高一期]高一期
高四十七期[高一期]高一期
高四十八期[高一期]高一期

田中義雄
高津弘之助
有田満里子
田作衛也
栗原悦久
安松和子
永井徳子
上田英之助
瀬尻修三
西見佳代
森田司朗
別所建夫
田中敏勝
池内厳勝
菊池信行
田中芳子
渡辺名津子
吉田良子
谷田直子
渋谷伊三雄
石橋勘一郎
岡田和寿
迫田茂郎
上田和一郎

故前川仁義

協力金 ありがとうございます
七年度も沢山の協力金を頂戴しました。若い期の方からこのご協力本当にうれしいです。
新卒者の入会金と皆様からの協力金が、尚和会の貴重な財源、活動資金です。

白堀	井上	秋山	渡海	河田	河崎	竹村	市川	桜田	高岸
川	上村	山	渡	敏治	守男	忠一	雅子	弘子	芳郎
明	明	雅	日	永	達	達雄	本美代	藤本	堀庭
清	晴	学	東	田	嘉之	政国	代子	弘子	栄夫
美	東	志	渡	安啓	三喜	国	田	門尾	澤裕子
堀	今井	水島	河田	俊	和	中右吉	川	田鶴子	小野
井	康雄	達子	田	田	正裕	信	雅子	子	敬子
上	詩子	嘉之	敏	俊	正裕	加藤	智子	子	子
村	詩子	孝之	治	和	正裕	美子	知子	弘子	子
山	詩子	安	和	和	正裕	村澄子	田靖子	田	子
渡	詩子	啓	和	和	正裕	正裕	村博子	田	子
海	詩子	安	和	和	正裕	正裕	木慶子	田	子
河	詩子	安	和	和	正裕	正裕	木慶子	田	子
田	河田	安	和	和	正裕	正裕	木慶子	田	子
田	敏治	安	和	和	正裕	正裕	木慶子	田	子
敏	和	安	和	和	正裕	正裕	木慶子	田	子
治	和	安	和	和	正裕	正裕	木慶子	田	子

渡邊慧子	高女七期	吉中川幸美子	都美甲
清水淑子	赤崎三期	高女八期	駒井香英子
上田茉莉子	高一期	併五一期	駒野英子
中村千穂子	高一期	高一期	赤崎三期
井上由紀子	高一期	高一期	高一期
藤本玲子	高一期	高一期	高一期
山本玲子	高一期	高一期	高一期
奥田閑子	高一期	高一期	高一期
橋本博子	高一期	高一期	高一期
鈴鹿裕子	高一期	高一期	高一期
古谷信子	高一期	高一期	高一期
村上美智子	高一期	高一期	高一期
岩藤雅子	高一期	高一期	高一期
東岩正美	高一期	高一期	高一期
和氣寅治	高一期	高一期	高一期
澤久之	高一期	高一期	高一期
市川道子	高一期	高一期	高一期
高十期	高十期	高十期	高十期
湯川真澄	高十三期	高十三期	高十三期
原千紀子	高十四期	高十四期	高十四期
原千紀子	高十二期	高十二期	高十二期
柏原明子	高十六期	高十五期	高十五期
森垣房子	高十六期	高十五期	高十五期
勝門純子	高十六期	高十五期	高十五期
植田住枝	高十六期	高十五期	高十五期
高重久	高十六期	高十五期	高十五期
橘高重久	高十六期	高十五期	高十五期
高十七期	高十七期	高十七期	高十七期
圓佛教子	高十七期	高十七期	高十七期
高八十期	高八十期	高八十期	高八十期
高二十一期	高十九期	高十九期	高十九期
高二十期	高二十期	高二十期	高二十期
高青山由子	高青山由子	高青山由子	高青山由子
高二十一期	高十九期	高十九期	高十九期

黒田長子
藤井玲子
安達良子
平井郁子
西村進
入川佳津
小竹井長子
森田玲子
富樫寿美子
黒田長子
藤井玲子
安達良子
明子
平井郁子
西村進
入川佳津
小竹井長子
森田玲子
富樫寿美子
斎藤良和
三上昌昭
川崎充康
大西町康子
吉田美津子
吉田美津子
横道満子
北野尚子
小川晴基
西川晴基
佐藤麗子
天田宏子
田中弘子
松原素子
松原素子
井口俊彦
口慶子
奥野道雄
山口洋子
長谷川春生
孫工延子
百合久美子
百合久美子
桃坂本洋子
柳井雄司
今村祥子
新谷進
中本清和
松浦勇
川端佳代子
藤岡美智子

小松友代	高二十三期	〔高二十三期〕
藤原明紀	高二十七期	〔高二十七期〕
有泉純子	高三十六期	〔高三十六期〕
小林美惠子	高三十九期	〔高三十九期〕
服部景子	高三四期	〔高三四期〕
佐々木奈美	高四十一期	〔高四十一期〕
末政孝宏	高四十二期	〔高四十二期〕
田邊昭夫	定八期	〔定八期〕
岡本千代子	定六期	〔定六期〕
川原由多子	定期	〔定期〕
美穂子	高女二期	〔高女二期〕
大嶋倫依子	高女二期	〔高女二期〕
新田福恵	高女三期	〔高女三期〕
吉澤幸子	高女三期	〔高女三期〕
吉澤靜子	高女四期	〔高女四期〕
池洲茂代	高女五期	〔高女五期〕
高木美津子	高女五期	〔高女五期〕
平山美津子	高女五期	〔高女五期〕
若槻静子	高女五期	〔高女五期〕
伊藤久子	高女五期	〔高女五期〕
大山寿美子	高女五期	〔高女五期〕
大都城和美子	高女五期	〔高女五期〕
西川節子	高女五期	〔高女五期〕
土田桂子	高女五期	〔高女五期〕
杉川若枝	高女五期	〔高女五期〕
野村喜美子	高女五期	〔高女五期〕
二宮昌子	高女五期	〔高女五期〕
馬渢千代子	高女五期	〔高女五期〕
辻朝子	高女五期	〔高女五期〕
三宅輝子	高女五期	〔高女五期〕



東泉テクノ株式会社

代表取締役 田中勇之祐
(高校9期)

本社営業所〒560 豊中市泉丘2-5-19-201

TEL (06)840-0373

FAX (06)840-2113



*NISHIOKA
KINZOKU CO.,LTD.*

代表取締役社長 西岡猛
(高校9期)

西岡金属株式会社

〒550 大阪市西区新町1丁目12番12号

TEL(06)541-2931／FAX(06)532-3357／ダイヤルイン(06)541-8649

各期連絡先

期	氏名	電話	期	氏名	電話	期	氏名	電話
女1	越水ユリ	06-852-8755	高27	柳沢勤	06-976-6430	定15	北浦修	06-333-4833
女2	北川富美子	0798-74-3024	高28	市田隆士	0595-52-0715	定16		
女3	若松栄	0727-62-6287	高29	寺田美智子	06-493-1282	定17	前田政治	06-855-8451
女4	小林三七子	0797-71-1064	高30	木村慶子	06-853-9213	定18	中島健二	0727-22-8153
女5	馬渕千代	06-853-5181	高31	榎香世子	06-393-7216	定19	飯田悦弘	06-855-3440
女6	青木操子	06-843-2552	高32	竹田伊都子	06-332-4076	定20	櫻原洋一	0727-21-1124
女7	黒田長子	06-854-5432	高33	池本清人	06-866-6789	定21	児谷幸子	06-862-1946
女8	中村陽子	06-844-1570	高34	山口誠	0720-94-1848	定22	西田惣一	06-850-2955
高1	安達良子	0727-21-3901	高35	川嶋道代	0727-29-6099	定23		
高2	菊池美美	06-852-4117	高36	安藤昌博	06-832-7930	定24	日紫喜美	06-862-7083
高3	谷田探成	06-314-0550	高37	味元士	06-854-5097	定25	大町裕次	06-843-6443
高4	鈴鹿常雄	06-843-7736	高38	堀田繁	06-841-0598	定26	片山勝重	0727-28-0955
高5	宮口一郎	06-852-4859	高39	須崎広	0727-52-6441	定27	稲井幸雄	06-385-6190
高6	一色貞輝	06-852-3962	高40	浅谷和美	06-862-6896	定28	真下保悟	06-607-0580
高7	松浦峻	0798-26-5531	高41	坂口大介	06-303-4831	定29	寒川悟	06-333-5761
高8	森田司朗	06-872-3329	高42	東紀江	06-371-5696	定30	大滝みゆき	
高9	古川智昭	06-848-6448	高43	横尾さち子	06-854-0026	定31		
高10	唐渡吉則	0727-52-4548	高44	倉谷実	06-302-2184	定32	高畑幸三	06-334-1243
高11	田中渡	06-852-2923	高45	伊原伸哉	06-843-2726	定33	立花富美佳	0727-61-3323
高12	谷木光一	06-855-5858	高46	長安伸一	06-821-2661	定34	清水美佳文	06-864-6366
高13	細川和彦	06-849-6879	高47	田中宏明	06-331-0641	定35		
高14	吉田裕理子	0727-51-5687	高48	川日本将司	0727-34-2032	定36		
高15	大畠光昭	06-841-8135	定3	上田孝彦	06-853-2162	定37	渡部二郎	06-863-0058
高16	中務公子	06-858-4509	定4	府上恵二	06-852-7122	定38	三浦智幸	06-855-2508
高17	福本育馬	06-333-6636	定5	橋本昌員	06-854-0234	定39	杉岡孝一	0727-61-5528
高18	北川悟司	06-843-1336	定6	木田隆幸	06-864-2452	定40	大槻新治	06-388-7339
高19	奥田敏輝	06-843-9397	定7	大倉晴夫	06-862-5752	定41	奥田弘	06-853-6877
高20	山中清利	0727-51-4408	定8	高木清伸	0722-50-6595	定42	菊永以言	06-27-24-5833
高21	山本登志恵	06-924-3544	定9	大谷収	0720-44-2311	定43	日野原秀則	0727-24-5833
高22	平本裕一	06-855-2482	定10	長野昌子	06-844-0473	定44	大塚俊二	0727-62-7873
高23	後藤保二	06-373-7380	定11	永井敏輝	06-852-0333	定45	山田敏夫	06-332-0572
高24			定12	笹部修造	06-852-0475	定46	山木洋人	06-862-9946
高25	井上健	06-878-7393	定13	中岸澄江	06-843-5737			
高26	金ヶ江裕之	06-852-1224	定14	杉本土生	0727-28-1497			

教職員人事異動(平成八年度)

全員制課程

援 を お 願 い し ま す。	広報委員長 田中渡	尚和会広報誌'96年度をお届けします。今年度は表紙を少し変えました。今年度は表紙を少し変えました。記事原稿や広告等、会員の皆様に御協力いただきありがとうございました。念誌となります。より一層の御支	編集後記	尚和会広報誌'96年度をお届けします。今年度は表紙を少し変えました。今年度は表紙を少し変えました。記事原稿や広告等、会員の皆様に御協力いただきありがとうございました。念誌となります。より一層の御支	藤城(事務部長) (英語)(数学)	木谷(副主幹) (英語)(数学)	藤吉(事務部長) (英語)(数学)	長谷川(正) (数学)(数学)
			*(数学) *(社会) *(英語) *(数学) *(英語) *(数学)	東野輝 (数学) 根岸光 (社会) 寺本照 (主査) 岡田節 (英語) 藤下利 (数学)	寺本照 (主査) 岡田節 (英語) 藤下利 (数学)	東野輝 (副主幹) (英語) 木谷孝 (数学)	藤吉志 (英語) 吉川茂 (数学)	長谷川昭 (数学) 長谷川正 (数学)
			非常勤嘱託記	非常勤嘱託記	非常勤嘱託記	非常勤嘱託記	非常勤嘱託記	非常勤嘱託記
				非常勤嘱託記	非常勤嘱託記	非常勤嘱託記	非常勤嘱託記	非常勤嘱託記

総合建設業・一級建築工事事務所
株式会社 河崎組代表取締役 河崎守男
(高校9期)本社 〒560 豊中市南桜塚2丁目6-30
TEL (06)849-6028/FAX (06)854-4431
倉庫作業場 〒560 豊中市春日町3-9